（別紙様式２）

|  |
| --- |
| ⑤　④の病状・状態像等の具体的程度、症状、検査所見　等      　　　検査所見：検査名、検査結果、検査時期 |
| ⑥　生活能力の状態　（保護的環境ではない場合を想定して判断する。児童では年齢相応の能力と比較の上で判断する） |
| １　現在の生活環境  　　　　　　入院・入所（施設名　　　 　　　）・在宅（ア 単身・イ 家族等と同居）・その他（　 　　　　　）  　２　日常生活能力の判定（該当するもの一つを○で囲む）  (1) 適切な食事摂取  自発的にできる　・　自発的にできるが援助が必要　・　援助があればできる　・　できない  (2) 身辺の清潔保持、規則正しい生活  自発的にできる　・　自発的にできるが援助が必要　・　援助があればできる　・　できない  (3) 金銭管理と買物  適切にできる　・　おおむねできるが援助が必要　・　援助があればできる　・　できない  (4) 通院と服薬（要・不要）  適切にできる　・　おおむねできるが援助が必要　・　援助があればできる　・　できない  (5) 他人との意思伝達・対人関係  適切にできる　・　おおむねできるが援助が必要　・　援助があればできる　・　できない  (6) 身辺の安全保持・危機対応、  適切にできる　・　おおむねできるが援助が必要　・　援助があればできる　・　できない  (7) 社会的手続や公共施設の利用  適切にできる　・　おおむねできるが援助が必要　・　援助があればできる　・　できない  (8) 趣味・娯楽への関心、文化的社会的活動への参加  適切にできる　・　おおむねできるが援助が必要　・　援助があればできる　・　できない  　３　日常生活能力の程度 　　　（該当する番号を選んで、どれか一つを○で囲む） 　　(1) 精神障がいを認めるが、日常生活及び社会生活は普通にできる。  (2) 精神障がいを認め、日常生活又は社会生活に一定の制限を受ける。  (3) 精神障がいを認め、日常生活に著しい制限を受けており、時に応じて援助を必要とする。  (4) 精神障がいを認め、日常生活に著しい制限を受けており、常時援助を必要とする。  (5) 精神障がいを認め、身の回りのことはほとんどできない。 |
| ⑦　⑥の具体的程度、状態等 |
| ⑧　現在の障がい福祉等のサービスの利用状況（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成十七年法律第百二十三  号）に規定する自立訓練（生活訓練）、共同生活援助（グループホーム）、居宅介護（ホームヘルプ）その他の障がい福祉サービス及  び精神科訪問看護、デイケア、訪問指導、生活保護の有無等） |
| ⑨　備考 |
| 上記のとおり、診断します。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 年　　　月　　　日  医療機関の名称  医療機関所在地  電話番号  診療担当科名  医師氏名（自署又は記名押印） |

診断書（精神障害者保健福祉手帳用）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | | 大正・昭和・平成・令和  年　　　　月　　　　日生（　　　　歳）  男　・　女 |
| 住所 |  | | |
| 1. 病名   ICDコードは、右の病名と  対応するF00～F99、G40のい  ずれかを記載） | | (1) 主たる精神障がい 　　　　　　　　　　　　ICDコード (　 　　)  (2) 従たる精神障がい 　　　　　ICDコード (　 　)  (3) 身体合併症 　　　　　　　　　　身体障害者手帳（有・無、種別　　　　級） | |
| 1. 初診年月日 | | 主たる精神障がいの初診年月日 　昭和・平成・令和　　　 年　月 日  診断書作成医療機関の初診年月日 　昭和・平成・令和　　　年　 月日 | |
| 1. 発病から現在までの病歴   及び治療の経過、内容（推  定発病年月、発病状況、初  発症状、治療の経過、治療  内容などを記載する） | | （推定発病時期　　年　　　月頃）  ＊器質性精神障がい（認知症を除く）の場合、発症の原因となった疾患名とその発症日  （疾患名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　　　月　　　日） | |
| ④　現在の病状、状態像等（該当する項目を○で囲む）  (1) 抑うつ状態  １ 思考・運動抑制　　２ 易刺激性、興奮　　３ 憂うつ気分　　４ その他（　　　　　　）  (2) 躁状態  １ 行為心迫　　２ 多弁　　３ 感情高揚・易刺激性　　４ その他（　　　　　　）  (3) 幻覚妄想状態  １ 幻覚　　２ 妄想　　３ その他（　　　　　　）  (4) 精神運動興奮及び昏迷の状態  １ 興奮　　２ 昏迷　　３ 拒絶　　４ その他（　　　　　　）  (5) 統合失調症等残遺状態  １ 自閉　　２ 感情平板化　　３ 意欲の減退　　４ その他（　　　　　　）  (6) 情動及び行動の障がい  １ 爆発性　　２ 暴力・衝動行為　　３ 多動　　４ 食行動の異常　　５ チック・汚言　　６ その他（　　　　　　）  (7) 不安及び不穏  １ 強度の不安・恐怖感　　２ 強迫体験　　３　心的外傷に関連する症状　　４ 解離・転換症状  ５ その他（　　　　　　）  (8) てんかん発作等（けいれん及び意識障がい）  １　てんかん発作　発作型（　　　　　　）　　頻度（　　　　　　　）　最終発作（　　　年　　月　　日）  ２　意識障がい　　３　その他　（　　　　　　）  (9) 精神作用物質の乱用及び依存等  １ アルコール　　２ 覚醒剤　　３ 有機溶剤　　４ その他（　　　　　　　　）  　　　ア 乱用 イ 依存 ウ　残遺性・遅発性精神病性障がい（状態像を該当項目に再掲すること）  エ その他（ 　　　 ）  　　　　現在の精神作用物質の使用　有・無（不使用の場合、その期間 年 月 から）  (10) 知能・記憶・学習・注意の障がい  １ 知的障がい（精神遅滞）　　ア 軽度　　イ 中等度　　ウ 重度　　療育手帳（有・無、等級等　　　　　　　）  ２ 認知症　　３ その他の記憶障がい　（　　　　　　　　　　　　）  ４ 学習の困難　ア 読み　　イ 書き　　ウ　算数　　エ その他　（　　　　　　　　　　）  ５ 遂行機能障がい　　６ 注意障がい　　７ その他（　　　　　　　　）  (11) 広汎性発達障がい関連症状  １ 相互的な社会関係の質的障がい　　２ コミュニケーションのパターンにおける質的障がい  ３ 限定した常同的で反復的な関心と活動　　４ その他（　　　　　　）  (12) その他（　　　　　　　　　　　　） | | | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 障害者保健福祉手帳 | | | | | 自立支援医療(精神通院) | | |
| １ | ２ | ３ | 不承認 | 保留 | 承認 | 不承認 | 保留 |